

# 北海道議会議員選挙選挙公報 (帯広市選挙区)

北海道選挙管理委員会

## 帯広の底力 引き出す!!

## 愛するふるさとに「人と活力」を!

ひとりひとりが輝くための環境づくり

全ての人が暮らしやすい社会を目指して

地域に根ざした、産業・企業の育成


- ① 元気な地域づくり**  
農・商・工の連携強化。高付加価値化による産業振興。食と農業などの魅力を活かした観光・商店街の振興。円滑な事業経営を行うための人材確保。農業基盤の整備を通じた基幹産業の強化。
- ② 安心・安全な地域づくり**  
子供を産み、育てやすい環境整備と支援。障がい者や高齢者が活き活きと暮らせる施設・環境整備。国土強靱化による、災害に強い社会基盤の整備促進。高齢者も若者にも喜ばれる、中心街の活性化。
- ③ 人が育つ地域づくり**  
保育所・幼稚園・小学校・地域などの連携による支援。確かな学力・健やかな体力を育む教育環境の充実。女性が活躍できる社会環境の整備。児童虐待や不登校を根絶するための体制強化。

自民党公認



## 清水拓也

しみずたくや



北海道を変える、国を変える

**みつ丈夫プロフィール**

- 1946年1月 / 小樽市生まれ
- 1964年4月 / 帯広三条高校卒業
- 1975年4月 / 帯広三宮所就職
- 1983年5月 / 37歳で市議会副議長に就任
- 1991年4月 / 4期連続市議会議員から道議会議員に立候補初当選
- 1995年4月 / 道議会2期目の挑戦で及ばず敗退
- 1999年4月 / 新「民主党」帯広代表に就任
- 2009年6月 / 民主党北海道議員連合 会長
- 2011年6月 / 道議会副議長 (2013年5月まで)
- 2014年11月 / 衆院選出馬のため道議会議員辞職
- 2014年12月 / 衆院選選挙に出陣するも惜しくも敗退
- 2015年4月 / 道議会議員に再選 (6期目)
- 2018年7月 / 国民民主党北海道選挙対策委員長就任
- 2019年1月 / 立憲民主党に入党

## ～変えるのは今、希望あふれる北海道へ～

**私のめざすもの**  
「くらし福祉を守り、暮らし続けたいくなる地域」「地域の医療・介護体制の充実」「年金制度改革」「子育てしやすい社会」「雇用の安定」「教育の機会均等」を掲げたいのある人もない人も共に生きる社会を実現します。この街に生まれ、この街で暮らし、この街で老いをかえて良かったと感じる地域をめざします。

**自立する地域**  
地域産業、国民の命や健康・暮らしを最優先する為に、豊かな自然環境、地域資源、農林水産業を活かし、食や観光、再生可能エネルギー関連産業を振興し、自立する地域循環型経済圏をめざします。JR北海道の路線問題については、北海道の成長のためにも路線維持に向けた取り組みを進めていきます。

**市民・地方が主役。格差のない社会**  
アベノミクスは、貧困と地域間・企業間格差を拡大させるものであり、地方や市民生活に深刻な格差を生み出しています。市民生活の不安を希望に変える「人に対する投資」を求め、市民・地方に視点をおいた格差のない社会をめざします。

**脱原発・エネルギーの自給**  
福島原発事故の深刻な状況を踏まえ、「脱原発」の北海道をめざします。省エネルギーの促進と代替となる新エネルギーの開発・導入を積極的に進めるとともに、北海道振興部地震の際のプラットフォームを教訓として発電施設の一極集中を是正し地域ごとに発電施設を分散させることを求めます。

**憲法を守り平和を希求**  
憲法9条は世界にゆるぎのない宝です。憲法の3原則「平和を希求します。主権は国民にあり、主権を堅持し平和を希求します。集団的自衛権行使容認を含む安全保障法制の撤回・廃止を求め、憲法9条への自衛隊明記に反対します。

立憲民主党公認



## みつ丈夫

たけお

## 市民と野党の共闘で、自公政権直結の道政を変える！

**市議16年 経験と実績**  
高橋はるみ知事による4期16年の道政は、北海道経済と道民生活に深刻な事態をもたらした。その根本には、アメリカ言いなり、大企業優遇の一方で、社会保障削減や消費税増税などをおこなない、国民生活と地域を破壊してきた安倍自公政権追従の北海道の姿勢がありました。今の道政、国の悪政の防壁となり、地方自治体の役割である「住民福祉の増進」が果たされる道政へと転換するために全力を尽くします。

**福祉と暮らしの充実**  
国民健康保険料の引き下げ。子ども等の均等割廃止。介護サービスの拡充。保険料・利用料の負担軽減。道による中学卒業までの医療費無料化。道独自の給付型奨学金制度の創設。JR地方路線の存続。

**農業と中小企業の発展**  
TPP、日欧EPA、日米FTAの中止。中小企業者への増額。地域分散型自然エネルギー推進による新産業と雇用の創出。

**憲法をまもり、生かす**  
オスプレイ飛行、その他軍事訓練の中止。核兵器のない世界の実現。

**防災・減災**  
地震・豪雨災害からの復旧復興。公共施設の耐震化促進。災害時の避難、支援体制の強化。消防力の整備。

**佐々木とし子のお書き**  
佐々木とし子のプロフィール  
1954年香美町生まれ/池田高校中/帯広市立南高等学校卒業、日本共産党十勝地区委員会等従、帯広市議4期、2015年道議会議員選挙で再選、党十勝地区事務局長、地区常任委員

日本共産党 十勝地区委員会 Facebookページ

とめよう消費税10% やめよう原発 まもろう憲法

日本共産党



## 佐々木とし子

64歳

新しいリーダー、**むらた光成** みつしげ

経験と実行力! 揺るぎない信念! 責任ある行動で 信頼される政治を!

「北海道の創生は 帯広・十勝から!」を合言葉に

**私の原点は 郷土愛**

【むらた光成プロフィール】

- 生年月日 昭和24年12月10日
- 学歴 帯広南小学校卒業
- 帯広第二中学校卒業
- 帯広農業高等学校卒業
- 帯広大学経済学部経済学科卒業
- 職歴 衆議院議員 武部六藏 (平成4年—平成13年4月)
- 帯広市議会議員 藤田 隆 (平成15年—平成18年)
- 市議会議員 道議会議員 議員連帯委員長
- 市議会議員 道議会議員 議員連帯委員長
- 党活動 自民党帯広支部長
- 自民党北海道11選挙区支部 政策調査会長
- 社会活動 (社)帯広青年会議所 会長 (平成15—19年)
- 帯広市助産師会 会長 (現任)
- 帯広市商工振興会 役員 (現任)
- 社会福祉法人 帯広福祉協会 評議員 (現任)
- 社会福祉法人 刀立会 評議員 (現任)
- 帯広市マナーセンター 理事 (現任)
- 趣味 スポーツ(エアガン・野球・ラダー)
- 家族 妻と長女(3人)

自由民主党公認



## むらた光成

みつしげ

**AI・ICT・テクノロジー・オープンデータの活用で!**

- 産業・経済** 基幹産業の農業を核に食やバイオマスを含むエネルギー等、力強い産業改革で、帯広・十勝の価値を高め、ダイナミックな発展で、日本をリードする地域を創ります。
- 交通ネットワーク** 北海道内の物流、観光、地域の交通確保のために、空港、港湾、鉄道・道路などの交通ネットワークの形成・充実を図ります。
- 教育・生涯学習** 北海道の未来を担うためのため、学校教育と社会教育の充実を図り、郷土愛にふれ、他人を思いやる心を持った青少年を育てる対策を進めます。
- 少子高齢社会** 持続可能な社会保障制度により、医療・介護・福祉の連携を充実し、女性が活躍できる社会の実現と子育て支援の充実を図ります。
- 防災・減災、強靱化** 北海道の命と暮らしを守るため、安全・安心を前提に公共施設(インフラ)を強化し、災害に強く持続可能な社会にします。
- 無駄のない行政運営で道民の力を結集** 北海道庁の行財政改革により無駄を削減し、事業の選択と集中、優先順位などスピード感を持った施策の展開、公共施設の適切な維持管理を進めます。議会改革に取り組むことにより、開かれた、分かりやすい、行動する議会、信頼される北海道議会を目指します。

※この選挙公報は、候補者から提出のあった掲載文を原文のまま印刷したものです。